

定期作況報告

(平成25年6月20日現在)
上川農業試験場天北支場

I 気象概況

5月下旬から6月中旬までの気象は以下のように推移した。

5月下旬：平均最高気温が19.2℃(対平年比+5.4℃)、平均最低気温が9.4℃(+4.0℃)といずれも平年より高かったため、平均気温は14.2℃(+4.7℃)と平年より高かった。降水量は10.5mm(35%)と平年より少なかった。日照時間は59.5時間(112%)と平年並であった。畑地温は9.7℃(+1.1℃)と平年よりやや高かった。

6月上旬：平均最高気温が17.5℃(対平年比+1.2℃)、平均最低気温は8.5℃(+0.7℃)といずれも平年よりやや高かったため、平均気温は12.5℃(+0.6℃)と平年よりやや高かった。降水量は1.5mm(9%)と平年より少なかった。日照時間は73.6時間(139%)と平年よりやや長かった。畑地温は11.0℃(+1.3℃)と平年よりやや高かった。

6月中旬：平均最高気温が20.5℃(+2.5℃)、平均最低気温が12.1℃(+2.2℃)といずれも平年より高かったため、平均気温は15.6℃(+1.9℃)と平年より高かった。降水量は16.0mm(88%)、日照時間は47.9時間(104%)といずれも平年並であった。畑地温は13.8℃(+2.1℃)と平年より高かった。

以上、この期間を要約すると平均気温の3旬の平均は14.1℃(+2.5℃)と平年より高かった。降水量の3旬の合計は28.0mm(44%)と平年より少なかった。日照時間の3旬合計は181.0時間(119%)と平年並であった。畑地温は11.4℃(+1.4℃)と平年よりやや高かった。

4月からの主気象要素の積算値は、平均気温、日照時間、畑地温は平年並に推移している。一方、降水量は平年よりやや少なく推移している。

a. 気象表

項目	5月下旬			6月上旬			6月中旬			3旬平均または合計		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
平均気温(℃)	14.2	9.5	4.7	12.5	11.9	0.6	15.6	13.7	1.9	14.1	11.6	2.5
平均最高気温(℃)	19.2	13.9	5.4	17.5	16.3	1.2	20.5	18.0	2.5	19.1	16.0	3.1
平均最低気温(℃)	9.4	5.4	4.0	8.5	7.7	0.8	12.1	9.9	2.2	10.0	7.6	2.4
降水量(mm)	10.5	29.9	△ 19.4	1.5	16.1	△ 14.6	16.0	18.3	△ 2.3	28.0	64.3	△ 36.3
降水日数(日)	2	4	△ 2	2	3	△ 1	3	3	0	7	9	△ 2
日照時間(hrs)	59.5	53.3	6.2	73.6	52.9	20.7	47.9	46.1	1.8	181.0	152.4	28.6
平均畑地温(10cm,℃)	9.7	8.6	1.1	11.0	9.7	1.3	13.8	11.7	2.1	11.4	10.0	1.4
最多風向	SW			E			E					
平均風速(m/s)	3.0			2.3			1.8					

注1) 平均畑地温は上川農試天北支場のデータ、その他の観測値は浜頓別アメダスのデータ。

2) 平年値は前10か年の平均より上川農試天北支場作成。

3) 降水量、降水日数、日照時間の3旬平均欄は3旬の合計値。

4) △印は対平年値比減を示す。

b. 主気象要素積算値(4月21日～6月20日)

	平均気温 (℃)	降水量 (mm)	日照時間 (hrs)	畑地温 (℃)
本年	575	82	258	482
平年	581	131	316	480
比較	△ 6	△ 49	△ 58	1

Y

Ⅱ 作 況

1. 採草型 チモシー（1番草）

作況：不良

事由：出穂始は平年より3日早かったが、収穫時草丈は20cm低く、乾物収量の平年比は66%と著しく低かった。5月下旬から6月上旬にかけて高温かつ降水量が少なく推移したため、栄養生長が不十分な状態で出穂始に達したと見られる。

以上より、目下の作況は不良である。

調査項目：

出穂始（月・日）			収穫期（月・日）			収穫時草丈（cm）		
本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
6.18	6.21	△3	6.20	6.25	△5	90	110	△20

生草収量（kg/10a）			乾物率（%）			乾物収量（kg/10a）			
本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	平年比
2,682	3,773	△1,091	17.3	18.7	△1.4	464	706	△242	66%

注）平年値は前7カ年のうち、平成20年（最豊年）及び平成22年（最凶年）を除いた5カ年平均値。

2. 放牧型 ペレニアルライグラス（2番草）

作況：不良

事由：草丈は平年より9cm低く、乾物収量は平年の78%と低かった。前番草刈取り後の高温及び降水不足の影響で生育が停滞し、減収したと見られる。

以上より、目下の作況は不良である。

調査項目：

草 丈（cm）		
本年	平年	比較
47	56	△9

生草収量（kg/10a）			乾物率（%）			乾物収量（kg/10a）			
本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	平年比
1,476	1,974	△498	18.3	17.7	0.6	270	345	△75	78%

注）平年値は前7カ年のうち、平成18年（最豊年）及び平成22年（最凶年）を除いた5カ年平均値。